



**Information  
for Candidates**  
受験者の方へIELTSの  
ご紹介

# 世界への扉を 開くテスト

このブックレットに、  
IELTSテストの準備を行う  
ための重要な情報を掲載  
しています。

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ) は、英語でコミュニケーションが取られる国への入学や就職を希望される方の英語能力を評価するためのテストです。

大学や企業、専門機関、移民局、その他の政府機関など、世界中で1万を超える機関に認められています。IELTSスコアを認定している機関の一覧は、[www.ielts.org/recognition](http://www.ielts.org/recognition)をご覧ください。

## 受験しやすく便利

IELTSは、140ヶ国以上において毎月最大で4回実施されています。試験日は土曜日と木曜日です。お住まいの地域での日程につきましては、最寄りのIELTSテストセンターにお問い合わせください。世界全国のIELTSテスト会場はすべて[www.ielts.org](http://www.ielts.org)に掲載しています。

## 国際試験

IELTSの内容は、国際性に重点を置いています。例えば、文章とタスクは英語圏全域の出版物から採用しています。多様なネイティブスピーカーのアクセント(北米、オーストラリア、ニュージーランド、英国など)がリスニングテストで使用されています。筆記および口頭での解答では、すべての標準英語が認められています。

## 検証、信頼されているテスト

IELTSは、言語評価における世界的な専門家が開発し、徹底した研究、検証、テスト開発プログラムによって支えられています。

## テストのレベル

IELTSは幅広いレベルの英語能力を評価することを目的としています。IELTSに合格・不合格はありません。試験結果は1(最低)から9(最高)までのバンドスコアで通知されます。

### IELTSバンドスコアのスケール

9	エキスパートユーザー
8	非常に優秀なユーザー
7	優秀なユーザー
6	有能なユーザー
5	中程度のユーザー
4	限定的なユーザー
3	非常に限定的なユーザー
2	一時的なユーザー
1	非ユーザー
0	非受験者

## 英国ビザおよび移住用IELTS

この目的でIELTSの成績を利用する方法につきましては、[www.ielts.org/unitedkingdom](http://www.ielts.org/unitedkingdom)をご覧ください。英国への入国または滞在に関する詳細は[www.gov.uk](http://www.gov.uk)をご覧ください。

## テストの準備

### 英語能力を示す準備を整える

- 1.このブックレットを読んで、テストの形式を把握します。テスト形式と問題の種類について詳しくは、[www.ielts.org/testformat](http://www.ielts.org/testformat)をご覧ください。
- 2.[www.ielts.org/sampletest](http://www.ielts.org/sampletest)のサンプル問題を使用して練習します。
- 3.練習テストの使用を検討します。IELTS公式練習用教材2巻がテストセンターまたは[www.ielts.org/prepare](http://www.ielts.org/prepare)より購入できます。教材には、完全版練習テストと解答集、ライティングおよびスピーキング解答例と試験官コメントが含まれます。
- 4.テストでのパフォーマンスを向上する準備コースの受講を検討しましょう。世界中のIELTSテストセンターや語学学校がIELTS準備コースを提供しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

[www.ielts.org](http://www.ielts.org)  
[www.britishcouncil.org/takeielts](http://www.britishcouncil.org/takeielts)  
[www.ieltsessentials.com/prepare](http://www.ieltsessentials.com/prepare)  
[www.cambridgeenglish.org/ielts](http://www.cambridgeenglish.org/ielts)  
[www.ielts.org/usa](http://www.ielts.org/usa)

### IELTSの規則

IELTSの規則を把握しておくことが大切です。これは申込書に含まれる**受験要領 (Notice to Candidates)** および**宣誓事項 (Declaration)**にて規定されています。申込書の宣誓事項に署名するか、オンラインで規約に同意することで、IELTSの規則を読んで理解し、これを遵守することに同意していただいたこととなります。

### 登録はお早めに

受験準備ができれば、IELTSセンターにて試験日の登録をします。各日の受験者の人数に定員が設けられていることがあるため、できるだけお早めにセンターにご連絡ください。登録時に受験料をお納めください。

### 特別な配慮を必要とされる場合は、センターにお知らせください

IELTSでは、全受験者の語学能力を公平かつ客観的に評価するため、特定の学習障害や聴覚障害、視覚障害などについて特別措置を必要とされる受験者の方に包括的な支援を提供しています。

拡大文字版や点字版などの試験問題を必要とされる場合は、3か月前までにテストセンターにお知らせください。この通知期間は、改変版のテストをご用意するために必要となります。時間延長や読み上げソフトを含むアクセス技術の使用など、運営上の特別手配を必要とされる場合は、6週間前までにテストセンターにお知らせください。特別措置の内容につきましては、テストセンターにご相談ください。同意された特別措置は、Joint Council for Qualifications (JCQ) に従って実施するものとします。

## テスト形式

「アカデミック」と「ジェネラル・トレーニング」の2つのモジュールから選択できます。

### IELTSアカデミック

IELTSアカデミックは、大学や大学院への入学や就職を希望する受験者を対象としています。

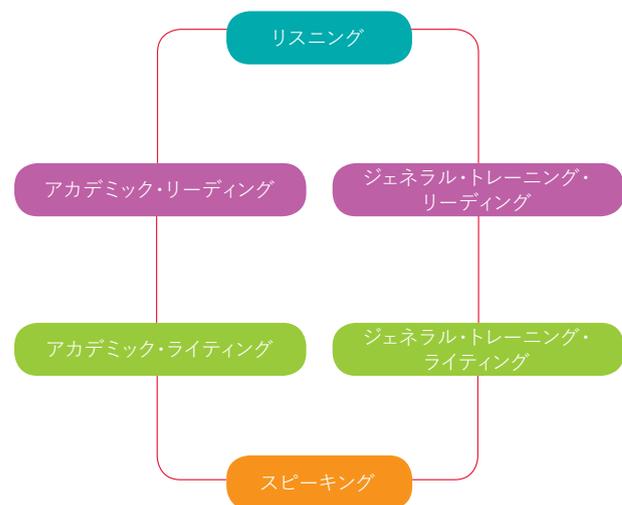
### IELTSジェネラル・トレーニング

IELTSジェネラル・トレーニングは、英語圏(オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、英国)への移住、学位を取得しない研修または学習を希望する受験者を対象としています。

機関によって受け入れ条件が異なります。一部の機関では、アカデミックとジェネラル・トレーニングの両方が認められます。どちらを受験すべきか不明な場合は、出願先に連絡し、条件をご確認ください。

障害による例外がある場合を除き(特別措置のセクションを参照)、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのスキルが測定されます。リスニングおよびスピーキングテストは全受験者に共通です。IELTSアカデミックとジェネラル・トレーニングでは、リーディングとライティングテストが異なります。

リスニング、リーディング、ライティングテストは同日に完了します。これらのテストが実施される順番は異なることがあります。3つのテストの間に休憩時間はありません。スピーキングテストは、他3つのテストの前後7日間以内に実施されることがあります。



# IELTSテストの4つのセクション

## リスニング

### 試験時間

約30分(その後、解答転記時間10分)

### 問題

出題数は全40問です。様々なタイプの問題が使用されます。選択問題、組み合わせ問題、計画・地図・図表の分類、記入用紙・メモ・表・フローチャートの穴埋め、要約・文章完成、記述式問題が出題されます。

### 試験パート

4つのセクションに分かれています。

セクション1は、日常の社会的な場面における2人の会話です(宿泊施設予約代理店での会話など)。

セクション2は、日常の社会的な場面における1人のモノローグです(地域の施設に関する描写、会議中の食事の手配に関する説明など)。

セクション3は、教育または研修の場面における最大4人の会話です(課題について話す大学の指導教官と学生、リサーチプロジェクトを計画する学生グループなど)。

セクション4は、学術的なトピックに関するモノローグです(大学の講義など)。

各セクションは1度しか聞くことができません。

様々な声とネイティブスピーカーのアクセントが使用されます。

### 評価されるスキル

以下のような幅広いリスニング力が評価されます。

- 要点を理解する
- 特定の事実情報を理解する
- 話し手の意見、考え、目的を認識する
- 議論の展開についていく

### 採点

正答1問につき1点。40点満点で、スコアはIELTSの1から9のバンドスケールに換算されます。

スコアは0.5刻みのバンドで通知されます。

## リーディング

### 試験時間

60分(解答転記時間なし)

### 問題

出題数は全40問です。様々なタイプの問題が使用されます。選択問題、情報の識別(正誤/不特定)、書き手の意見や主張の識別(正否/不特定)、情報・見出し・記事・文末の一致、文章・要約・メモ・表・フローチャート・図表ラベルの穴埋め、記述式問題が出題されます。

### 試験パート

3つのセクションに分かれています。文章の長さは全体で2,150～2,750語です。

### アカデミック・リーディング

各セクションに長文が1つあります。文章は実際の書籍や専門誌、雑誌、新聞などからの抜粋です。一般読者向けに書かれたもので、一般的な学術関連のトピックです。内容は、大学や大学院への進学や就職を希望する受験者に適したものとなっています。文章は、記述的で事実を述べたものから、推論的、分析的なものなど様々です。図表やグラフ、イラストなど、非言語的な資料が含まれることもあります。専門用語が使用されている場合は、簡単な注釈が付きます。

### ジェネラル・トレーニング・リーディング

セクション1では、2～3つの事実に基づく短文が出題されます。そのうち1つは混合型(ホテル広告などのトピックに関連する6～8つの短文で構成)になります。トピックは英語圏での日常生活に関連するものです。

セクション2では、仕事関連の問題(求人申込、会社方針、給与と勤務条件、職場施設、人材育成、研修など)に関する2つの事実に基づく短文が出題されます。

セクション3では、一般的なトピックに関する比較的複雑な長文が出題されます。

文章は実際の通知や広告、会社ハンドブック、公文書、書籍、雑誌、新聞などからの抜粋です。

### 評価されるスキル

以下のような幅広いリーディング力が評価されます。

- 要旨を読み取る
- 要点を読み取る
- 詳細を読み取る
- 推論や言外の意味を理解する
- 書き手の意見、考え、目的を認識する
- 議論の展開についていく

### 採点

正答1問につき1点。40点満点で、スコアはIELTSの1から9のバンドスケールに換算されます。

スコアは0.5刻みのバンドで通知されます。



テスト形式は[www.ielts.org/testformat](http://www.ielts.org/testformat)をご覧ください。

採点に関する情報は[www.ielts.org/criteria](http://www.ielts.org/criteria)をご覧ください。

サンプル問題は[www.ielts.org/sampletest](http://www.ielts.org/sampletest)をご覧ください。

### 英国ビザおよび移住用IELTS

この目的でIELTSの成績を利用する方法につきましては、[www.ielts.org/unitedkingdom](http://www.ielts.org/unitedkingdom)をご覧ください。英国への入国または滞在に関する詳細は[www.gov.uk](http://www.gov.uk)をご覧ください。

## ライティング

### 試験時間

60分

### タスク

2つのタスクが与えられます。タスク1では150語以上、タスク2では250語以上の作文が求められます。

### 試験パート

2つのパートに分かれています。

#### アカデミック・ライティング

タスク1では、提示されたグラフや図表に関して、自分の言葉で情報を描写、要約、説明します。データの描写や説明、プロセスの手順や物事の仕組みの描写、物や出来事の描写などを求められることがあります。

タスク2では、ある見解や主張、問題に関するエッセイを書きます。

提起される問題は、大学や大学院への進学や就職を希望する受験者に適した、理解しやすい一般的なトピックです。タスク1とタスク2の解答は、学術的なややフォーマル／中立的な文体で記述します。

#### ジェネラル・トレーニング・ライティング

タスク1では、提示された状況に対し、情報を求めたり状況を説明する手紙を書きます。手紙は、私的またはややフォーマル／中立的な文体とします。

タスク2では、ある見解や主張、問題に関するエッセイを書きます。エッセイは、アカデミック・ライティングのタスク2よりやや私的な文体でも構いません。

一般的なトピックです。

### 評価されるスキル

いずれのタスクにおいても、以下において適切な解答を記述する能力が評価されます。

- 内容
- 考えの構成
- 語彙と文法の正確性と多彩性

#### アカデミック・ライティング

タスク1では、タスクの種類に応じて次の能力が評価されます。データの整理、提示、場合によっては比較。プロセスまたは手順の段階の描写。物や出来事または出来事の順序の描写。物の仕組みの描写。

タスク2では、タスクの種類に応じて次の能力が評価されます。問題に対する解決策の提示。意見の提示と裏付け。根拠や意見、含蓄の比較と対照。アイデアや根拠、主張の評価と反論。

#### ジェネラル・トレーニング・ライティング

タスク1では、タスクの種類に応じて次の能力が評価されます。一般的な事実情報を引き出したり提供するための私的な通信。要求や希望、好き嫌いの嗜好の表現。意見（見解、不満など）の表現。

タスク2では、次の能力が評価されます。一般的な事実情報の提供。問題の要約と解決策の提示。意見の提示、場合によっては裏付け。アイデアや根拠、主張の評価と反論。

### 採点

各タスクにおける能力は、認定されたIELTS試験官により、IELTSライティングテスト評価基準（タスクの完成度／的確な応答、一貫性と結合性、語彙、文法の範囲と正確性）に基づいて評価されます。評価基準は[www.ielts.org/criteria](http://www.ielts.org/criteria)にて公開しています。

ライティングにおけるタスク2の配点はタスク1の2倍です。

スコアは0.5刻みのバンドで通知されます。

## スピーキング

### 試験時間

11～14分

### 試験パート

3つのパートに分かれています。

#### パート1 自己紹介とインタビュー(4～5分)

試験官が自己紹介し、受験者の自己紹介を求めて本人確認します。家や家族、仕事、勉強、興味など、一般的なトピックに関する質問があります。

#### パート2 スピーチ(3～4分)

試験官から、スピーチのトピックの指示とスピーチで言及すべきポイントに記載したタスクカードが渡されます。1分間の準備時間とメモを取るための鉛筆と紙が与えられます。トピックについて1～2分間のスピーチを行います。その後、同じトピックについて1～2つの質問があります。

#### パート3 双方向ディスカッション(4～5分)

試験官から、さらにパート2のトピックに関連する質問がされます。これらの質問では、より抽象的な問題やアイデアについて議論できます。

### 評価されるスキル

以下のような幅広い会話力が評価されます。

- 様々な質問に答えることで、日常のトピックや一般的な経験、状況に関する意見や情報を伝える能力
- 適切な言葉遣いと考えの明確な構成を持って、特定のトピックについてある程度の長さの話をする能力
- 意見を述べ、裏付ける能力や問題について分析、議論、推測する能力

### 採点

テスト全体における能力は、認定されたIELTS試験官により、IELTSスピーキングテスト評価基準（流暢性と一貫性、語彙、文法の範囲と正確性）に基づいて評価されます。評価基準は[www.ielts.org/criteria](http://www.ielts.org/criteria)にて公開しています。

スコアは、0.5刻みのバンドで通知されます。

## テストのアドバイス

### リスニング

- リスニングテストの音声は、それぞれ1度のみ再生されます。
- 音声を聞く前に問題に目を通す時間が与えられます。
- 音声を聞きながら問題用紙に解答を書き込んでください。テストの最後に10分間、解答を解答用紙に書き写す時間があります。問題用紙に書き込まれたものは採点の対象にならないため、必ず解答を解答用紙に書き写してください。
- 解答は鉛筆で記入してください。
- リスニング解答用紙の記入例を次ページに掲載しています。
- 「空欄補充」問題(メモの空欄補充など)
  - 語数制限に注意してください。例えば、「NO MORE THAN TWO WORDS」(2語以内)で文を完成させる指示があり、正解が“leather coat”の場合、“coat made of leather”という解答は不正解となります。
  - 解答用紙には抜けている単語のみを記入してください。例えば、“in the ...”というメモを完成させる問題で正解が“morning”の場合、“in the morning”という解答は不正解となります。
  - 解答に使う単語は音声の中にあります。聞こえた単語の形を変える必要はありません。
  - 綴りと文法に注意してください。ミスは減点となります。
  - 解答は小文字でも大文字でも構いません。

### リーディング

- 解答は、解答用紙に直接記入するか、問題用紙に書き込んでテストの終了前に解答用紙に書き写すことができます。テストの最後に書き写すための時間は設けられていません。問題用紙に書き込まれたものは採点の対象外となります。
- 解答は鉛筆で記入してください。
- リーディング解答用紙の記入例を次のページに掲載しています。
- 「空欄補充」問題(メモの空欄補充など)
  - 「空欄補充」問題にはリスニングと同じ規則が適用されます(上記)。
  - 解答に使う単語は、リーディングの文章から抜粋する必要があります。文章中の単語の形を変える必要はありません。

### ライティング

- 解答は鉛筆かペンで記入できます。
- 各タスクで指定されている語数に注意してください。タスク1で150語、タスク2で250語に満たない場合は減点となります。
- タスク1に約20分、タスク2に約40分を目安に時間配分してください。
- 解答は完全な文で記述してください。メモ形式や箇条書きの解答は減点となります。
- 綴り、文法、句読点に注意してください。ミスは減点となります。
- 解答はすべて大文字で記入しても構いません。
- 問題用紙にメモを書き込むことができますが、問題用紙に書き込まれたものは採点の対象になりません。

## 試験結果

### 成績証明書

4つの各スキル(リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング)のスコアとオーバーオール・バンド・スコアを記載した成績証明書が発行されます。「.5」のバンドスコアは、特定のバンド内においてパフォーマンスが高いことを示します。スコアの処理と解釈に関する詳細は、[www.ielts.org/criteria](http://www.ielts.org/criteria)をご覧ください。

結果はテストから13日後に通知されます。一部のテストセンターでは、受験者は13日目に結果を受け取ることができます。その他のテストセンターでは、結果が13日目に受験者に郵送されます。テストセンターは、電話、スキャン、電子メールで結果を伝えることは許可されていません。

### 結果のオンライン事前通知

テストから13日後にオンラインで結果を事前閲覧できます。結果は28日間オンライン掲載しています。なお、オンライン事前通知を英語能力の正式な証明として使用することは推奨されません。

### 結果の有効期限

各機関は、テスト以来積極的に英語能力を維持したり、向上を試みた証明がないかぎり、通常は2年以上経過した成績証明書を認めていません。IELTSテスト・パートナーは、2年以上経過したテスト結果の有効性を確認することはできかねます。

## IELTSの再受験

IELTSの再受験に関する制約はありません。再び受験をする準備ができれば、新たにお申し込みをしてください。ただし、再受験までに徹底して英語能力の向上に取り組まれないかぎり、スコア向上の可能性は低いことにご留意ください。詳しくは[www.ielts.org/resitting](http://www.ielts.org/resitting)をご覧ください。

## 再採点

試験結果に不服の場合は、受験したセンターにて再採点(Enquiry on Results)の申し立てができます。申し立ては試験日から6週間以内に行ってください。再採点を請求するスキルを選択できます。再採点には手数料がかかり、いずれかの技能のスコアが上方修正された場合は返金されます。再採点には6~8週間かかります。

### 英国ビザおよび移住用IELTS

この目的でIELTSの成績を利用する方法につきましては、[www.ielts.org/unitedkingdom](http://www.ielts.org/unitedkingdom)をご覧ください。英国への入国または滞在に関する詳細は[www.gov.uk](http://www.gov.uk)をご覧ください。

The image shows a sample IELTS Test Report Form. It includes fields for Candidate Details (Family Name, First Name, Candidate ID, Date of Birth, Sex, Scheme Code, Country of Origin, Country of Nationality, First Language) and Test Results (Listening, Reading, Writing, Speaking, Overall Band Score). The form also features a candidate photo, a center stamp, and a validation stamp. A large 'SAMPLE' watermark is overlaid on the form.

成績証明書は1通のみ発行されます。成績証明書の再発行はされないため、大切に保管してください。テストセンターは、成績証明書のコピーを5機関にまで無料で送付できます。



# IELTS成功への5つのステップ

1

## お問い合わせ

世界全国のIELTSテストセンターの連絡先はすべて [www.ielts.org](http://www.ielts.org) に掲載しており、こちらから申込書もダウンロードできます。

2

## 登録

申込書の情報をよくお読みください。印刷版の申込書またはオンライン登録に記入して、最寄りのテストセンターにご提出ください。受験料を同封していただくか、オンライン決済が必要となります。

身分証明書(パスポート)の番号を記入し、はっきりと判別できる身分証明書のカラーコピーまたはスキャンを申込書に添付してください。身分証明書は、登録の時点で有効であり、同じ身分証明書をテスト当日に提示していただく必要があります。

3

## 確認

テストセンターは、書面による試験日時の確認をお送りします。スピーキングテストの日程は、筆記テストと同日か、筆記テストの前後7日以内の別日に設定されます。テストセンターがスピーキングテストの日時を確認します。

4

## 試験当日

試験当日とスピーキングテスト前に身分証明書を確認します。テストの登録時に使用されたものと同一の身分証明書をご提示ください。安全上の措置のために写真が撮影され、これはIELTS成績証明書に使用されます。また、指紋採取が実施されることもあります。

5

## 結果

結果はテストから13日後に通知されます。一部のテストセンターでは、受験者は13日目に結果を受け取ることができます。その他のテストセンターでは、結果が13日目に受験者に郵送されます。テストセンターは、電話、スキャン、電子メールで結果を伝えることは許可されていません。

テストから13日後にオンラインで結果を事前閲覧できます。結果は28日間オンライン掲載しています。なお、オンライン事前通知を英語能力の正式な証明として使用することは推奨されません。

## 詳しくは[www.ielts.org](http://www.ielts.org)をご覧ください

 ネットワークにご参加ください  
[www.facebook.com/IELTSofficial](http://www.facebook.com/IELTSofficial)

 動画をご覧ください  
[www.youtube.com/IELTSofficial](http://www.youtube.com/IELTSofficial)

### 英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのビザおよび移住用IELTS

この目的でIELTSの成績を利用する方法につきましては、こちらをご覧ください。

[www.ielts.org/unitedkingdom](http://www.ielts.org/unitedkingdom)

[www.ielts.org/australia](http://www.ielts.org/australia)

[www.ielts.org/canada](http://www.ielts.org/canada)

[www.ielts.org/newzealand](http://www.ielts.org/newzealand)

### プライバシー

IELTSテスト・パートナーは、IELTS受験者のプライバシー権を認識し、尊重します。詳しくは[www.ielts.org/privacy](http://www.ielts.org/privacy)をご覧ください。

**British Council**  
Bridgewater House  
58 Whitworth Street  
Manchester, M1 6BB  
United Kingdom  
電話番号: +44 161 957 7755  
[ielts@britishcouncil.org](mailto:ielts@britishcouncil.org)

**IDP: IELTS Australia**  
Level 8, 535 Bourke St  
Melbourne VIC 3000  
Australia  
電話番号: +61 3 9612 4400  
[ielts@idp.com](mailto:ielts@idp.com)

**Cambridge Assessment English**  
1 Hills Road  
Cambridge, CB1 2EU  
United Kingdom  
[www.cambridgeenglish.org/helpdesk](http://www.cambridgeenglish.org/helpdesk)

**IELTS USA**  
825 Colorado Boulevard  
Suite 221  
Los Angeles, CA 90041  
USA  
電話番号: +1 323 255 2771  
[ielts@ieltsusa.org](mailto:ielts@ieltsusa.org)

IELTSは、ブリティッシュ・カウンシル、IDP: IELTS Australia、Cambridge Assessment English が共同所有しています。IELTSテストは、受験者の正確な語学能力を測定するため、言語評価における世界的な専門家が作成、設定しています。IELTSバンド4~9(NQFエントリー3~レベル3)は、イングランドの試験監査機関(Office of Qualifications and Examinations Regulation)Ofqualによって認定されています。

